



平成28年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年6月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社鳥貴族
コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部ディレクター (氏名) 道下 聡

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第3四半期の業績(平成27年8月1日～平成28年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第3四半期	17,547	31.6	1,062	35.1	1,027	31.5	579	49.4
27年7月期第3四半期	13,329	24.6	786	38.1	781	17.0	388	2.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第3四半期	50.84	49.93
27年7月期第3四半期	37.91	36.34

(注) 当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成27年8月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。当該株式分割が平成27年7月期の事業年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第3四半期	11,540	5,140	44.5
27年7月期	11,005	4,573	41.6

(参考) 自己資本 28年7月期第3四半期 5,140百万円 27年7月期 4,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	10.00	—	5.00	—
28年7月期	—	2.00	—	—	—
28年7月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注1) 平成28年7月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当2円00銭

(注2) 配当予想の修正については、本日(平成28年6月3日)公表いたしました「期末配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

(注3) 当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成27年8月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。1株当たり配当金については、実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年7月期の業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,161	24.1	1,384	23.8	1,313	21.3	667	14.0	58.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年7月期3Q	11,583,300 株	27年7月期	11,352,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年7月期3Q	— 株	27年7月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年7月期3Q	11,403,727 株	27年7月期3Q	10,237,233 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成27年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成27年8月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。当該株式分割が平成27年7月期の期首に行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の継続等により、企業業績や雇用環境が緩やかな回復を続けました。しかしながら、個人消費の回復に遅れが見られるとともに、海外においては中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の減速懸念が続くなど不安定な状況にあります。また、日経平均株価が20,000円台から16,000円台まで下落し、円高・株安が進む中でマイナス金利政策が行われるなど、景気の不透明感が高まり、消費者意識の先行きについても楽観視できない状況にあります。

外食業界におきましては、2015年7月以降外食全体の売上が前年同月を上回る一方で、店舗運営における人件費コストの高騰及び人員確保リスクの増大により、予断を許さない状況が続いております。また、円安等による輸入食材を中心とした価格高騰により値上げを実施するなど、売上は前年同月を上回る一方、客数は前年同月を下回る傾向が見られております。

このような状況の中、当社では、引き続き新規出店による「鳥貴族」の認知度を高めるとともに、「国産国消への挑戦」を継続して取り組み、さらなる商品力の向上とブランド力の強化に努めてまいりました。また、「280円（税抜）均一を守ろう」をスローガンに生産性の向上を目指すプロジェクトを始動し、「提供のスピードアップ」とともに「280円（税抜）均一の感動」の追及を最重要課題とし取り組み、280円（税抜）価格を維持したことにより、前年同期を超える多くのお客様にご来店頂くことが出来ました。

なお、当第3四半期累計期間は関東圏を中心に53店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は466店舗（前事業年度末比52店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第3四半期累計期間は40店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日においては266店舗（同39店舗純増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間は、新規出店による店舗数の増加及び既存店売上高が好調に推移したこと等により、売上高は17,547,782千円（前年同期比31.6%増）となり、売上総利益は12,026,007千円（同31.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、店舗数拡大による増加のほか、既存店売上高が好調に推移したことに伴う人件費の増加等により10,963,453千円（同30.8%増）となりました。以上により、営業利益は1,062,554千円（同35.1%増）、経常利益は1,027,952千円（同31.5%増）、四半期純利益は579,778千円（同49.4%増）となりました。なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は11,540,913千円となり、前事業年度末と比較して535,701千円の増加となりました。これは主に新規出店に伴い有形固定資産が増加した一方、新規出店のための設備投資及び法人税等の納付により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は6,400,638千円となり、前事業年度末と比較して31,473千円の減少となりました。これは主に店舗数の増加に伴い買掛金、資産除去債務が増加した一方、長期借入金の返済を行ったこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は5,140,275千円となり、前事業年度末と比較して567,175千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、四半期純利益の計上により増加した一方、配当金の支払いにより減少したことによるものであり、自己資本比率は44.5%（前事業年度末は41.6%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月期の通期業績予想につきましては、平成27年9月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

（法人税率の変更等による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従前の32.2%から平成28年8月1日に開始する事業年度及び平成29年8月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%に、平成30年8月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.6%となります。

この変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は8,124千円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,750,890	3,672,695
売掛金	134,230	172,510
商品及び製品	76,816	98,851
原材料及び貯蔵品	18,484	18,436
その他	695,392	763,290
流動資産合計	5,675,813	4,725,783
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,363,078	4,415,289
その他（純額）	610,300	834,474
有形固定資産合計	3,973,379	5,249,763
無形固定資産	26,846	29,140
投資その他の資産		
差入保証金	1,040,666	1,211,081
その他	297,403	333,591
貸倒引当金	△8,896	△8,446
投資その他の資産合計	1,329,172	1,536,225
固定資産合計	5,329,398	6,815,129
資産合計	11,005,212	11,540,913
負債の部		
流動負債		
買掛金	681,938	822,225
1年内返済予定の長期借入金	802,744	614,624
未払金	879,484	1,055,609
未払法人税等	294,390	170,293
賞与引当金	267,694	147,113
その他	1,004,622	1,174,930
流動負債合計	3,930,873	3,984,797
固定負債		
長期借入金	1,509,822	1,097,062
退職給付引当金	28,732	36,461
資産除去債務	559,441	678,841
その他	403,243	603,475
固定負債合計	2,501,238	2,415,841
負債合計	6,432,112	6,400,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,474,174	1,488,685
資本剰余金	1,464,174	1,478,685
利益剰余金	1,634,751	2,172,905
株主資本合計	4,573,100	5,140,275
純資産合計	4,573,100	5,140,275
負債純資産合計	11,005,212	11,540,913

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成26年8月1日 至平成27年4月30日）	当第3四半期累計期間 （自平成27年8月1日 至平成28年4月30日）
売上高	13,329,401	17,547,782
売上原価	4,162,886	5,521,775
売上総利益	9,166,514	12,026,007
販売費及び一般管理費	8,380,290	10,963,453
営業利益	786,224	1,062,554
営業外収益		
受取利息	125	291
保険解約返戻金	13,158	2,497
固定資産受贈益	6,685	—
その他	10,725	8,166
営業外収益合計	30,694	10,955
営業外費用		
支払利息	27,480	30,336
支払手数料	3,746	12,679
その他	3,693	2,539
営業外費用合計	34,919	45,556
経常利益	781,999	1,027,952
特別利益		
固定資産売却益	—	6,754
特別利益合計	—	6,754
特別損失		
固定資産除却損	935	38,052
減損損失	4,900	—
特別損失合計	5,836	38,052
税引前四半期純利益	776,163	996,655
法人税、住民税及び事業税	325,376	357,519
法人税等調整額	62,650	59,358
法人税等合計	388,026	416,877
四半期純利益	388,136	579,778

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成27年4月30日）
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期累計期間（自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日）
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。